

TR-9300 は 1981 年発売された 50 mhz の ALL MODE 機で、50.240 各局も使用中あるいは使用した事がある OM も多い事と思います。

当局が使用してる、TR-9300 は TR I O のロゴがあり、1981 年発売当初の R I G だと思います。



1981 年当時は、無線をお休み状態でしたので TR-9300 の機種名すら認識していません

この、TR-9300 との出会いは、数年前の 240 電波伝播実験の 1 週間くらい前に、電波伝播実験で使う予定の、FT690mk II が突然受信不能になってしまい、急遽故 JA1BSZ 小澤 OM から休眠中の TR-9300 を借用し、無事に電波伝播実験を終える事ができました、FT690mk II の修理が完了するまで、故小澤 OM から借用してモバイル運用をしていましたが、FT690mk II の修理完了後は予備機として、小澤 OM から譲り受ける事になりました。

モバイルは TR-9300、移動運用は FT690mk II や FT-817 で運用するスタイルが出来ました。

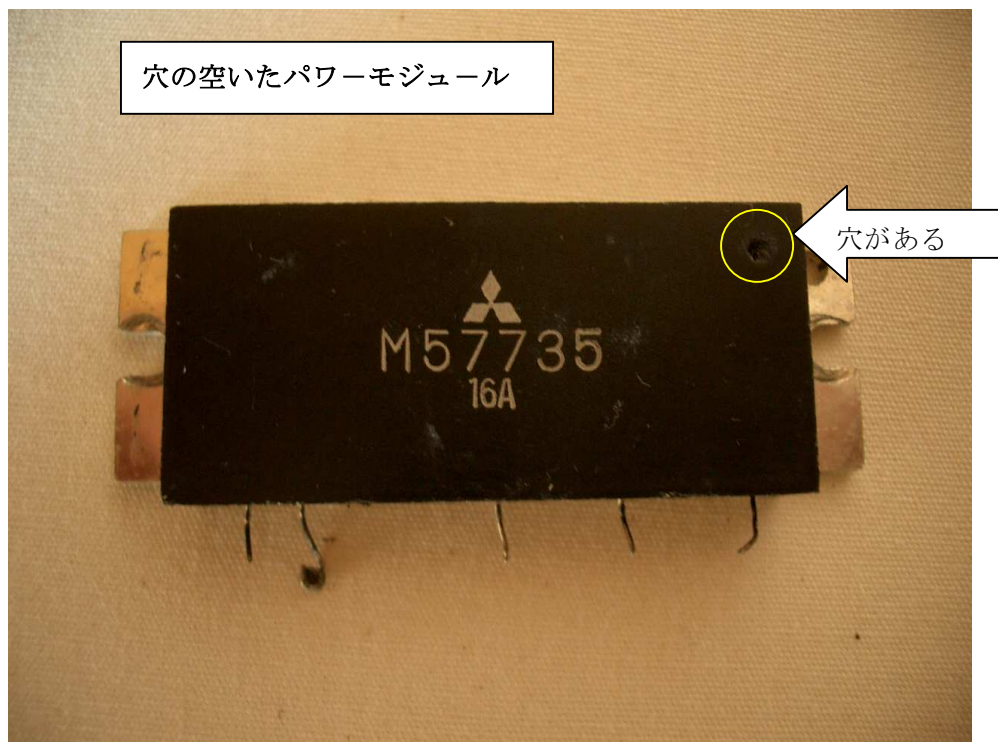
そんな経緯で当局の所に来た TR-9300 なので、小澤 OM がサンレントキーした後も大切に使用していましたが、今年 (2006) の 5 月に、所沢へ移動運用に出掛ける途中に、JA1RIZ 局とモバイル同士で交信中に突然パワーが出なくなりました。

移動運用地に着いて、早速 FT-817 に SWR 計を繋いで VSWR 測定すると無限大になっていました。

ANT 基台と同軸ケーブルの接続に異常があると考えて、トランクリットに取り付けた、144/430 の ANT 基台に 50mhz の 3/8 を取り付けて再度、VSWR を測定すると、1.3 でした。

50MHz の ANT 基台の同軸ケーブル取り付け部分をよく見ると、ケーブルのアース側が、断線寸前でした、！！これが原因でV SWRが無限大になり、TR-9300 のファイナルが破壊されたのでしょうか。

帰宅後、TR-9300 を分解してファイナル部の M57735 のパワーモジュールを見ると直径 3mm程の穴が空いていました。



20年以上も前に発売した RIG なのでメーカー修理も無理と思いましたが、入手の経緯を思うとなんとか修理したいと思い、インターネットでパワーモジュール M57735 を検索すると 5000 円～8000 円位で通販店で販売されている事が分かりました。そうこうしている内にハムフェアがあり、M57735 を探しましたが、M57736、7,8 は有るのですが、M57735 は残念ながら有りませんでした。

50.240 の掲示板に M57735 求むの投稿したら、何局かの方からアドバイスや情報がありました、そして JE1PPG 石井OMのご協力で宮崎県から入手する事が出来ました。

早速、TR-9300 を分解してファイナル部の M57735 のパワーモジュールを新品の物と交換して、また組み立てるまで約 1 時間位で完了し、電源をONしてイザ送信しましたが、アレー、、パワー計がピクリともしない、インターネットで M57735 を使用したリニアアンプの回路と端子電圧が記載された内容を印刷して、パワーモジュールの端子の電圧を測定すると、1箇所だけ電圧が 0 V の所がありました、なぜ 0 V なのか全く分かりません、当然ですがリニアアンプの回路図と TR-9300 のファイナル部は同じではありません。

J J 1 S X Aさんなら TR-9300 の回路図を持っているかもしれないし、家も近い
240 でコールするも応答無し、有線電話をしても応答無し、これは行った方が早いし
留守なら諦めもつくと思い、J J 1 S X A 宅へ向かいました。

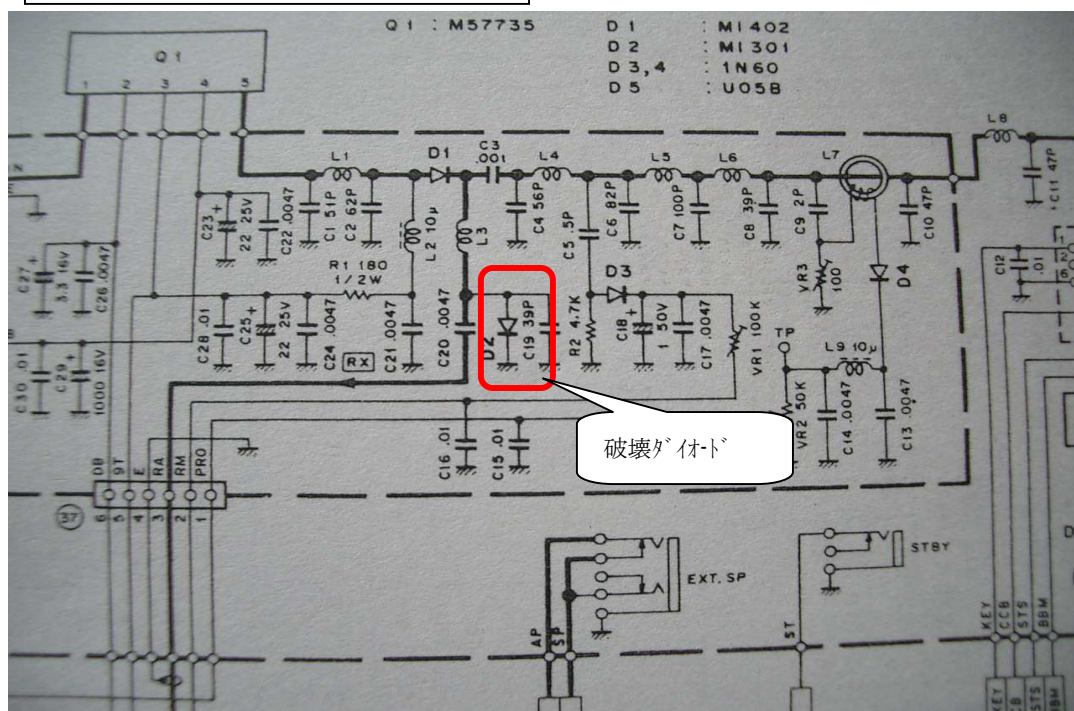
運良く、外出から帰ったばかりとかで、J J 1 S X A さん S X B さんは在宅でした、
TR-9300 の話しをして、回路図を借用しながら、パワーモジュール部の SW ダイオード
が破壊されて、パワーが出なくなる事があり、S X A さんも 2 度ほど交換した事
があるが、ダイオードの規格は覚えてないとの事でした。

自宅に戻り、TR-9300 の回路図を眺めるとパワーモジュールの端子に「1 箇所だけ電
圧が 0 V」の所にダイオードがありました、M1301 の規格は手持ちが無いので適当な
ダイオードであれば良いと考えて、手持ちのダイオードを取付けました。

そして、電源を ON して送信するとパワー計が丁度 10 w を指示しました。

やった、直った。

ファイナルの回路図



パワーモジュール交換後のファイナル



翌日、50.240 のCW講習会に参加するため立川の砂川公民館に向かう途中、モバイル走行中のJH1DXJさんにコールすると直ぐにコールバックがあり、正常に電波は出ているようでした、が、しかし、5分位すると信号が急に弱くなったとの事でした、ローケーションかなと思いつつ砂川公民館に到着後、CWモードで送信してみましたらTR-9300のインジケータで2目盛り位しか振れません、これはやはり駄目かな。。。。CW講習会に来ていた、宍戸さんに事情を説明すると、高周波用のSWダイオードを付けないと直ぐに破壊して、最終的にはパワーモジュールも破壊される、との説明でした、また、手持ちの高周波用のSWダイオードの郵送をしてくれる事になりました。そして、2週間が過ぎて第2回目のCW講習会に行くと、宍戸さんから「ダイオード着いたでしょ」と言われて「いや、着いて無い」と答えました。

前回のCW講習会後に直ぐに送った様でした。

気になるのは、前回のCW講習会の時に、住所がHAMの名詞に記載してあるので、名詞を宍戸さんに渡したのですが、立川市上砂町 5-〇〇-〇〇 の後にマンションの部屋番号を記載して無い事でした。

宍戸さんが郵便を投函して、杉並郵便局に到着している事は調査してくれましたので次に私が立川郵便局に電話して、発送日や封筒の色や郵便物の詳細を伝えて、2時間位で、連絡があり「部屋番号不明」で立川郵便局に保管されていました。

そして、その日の夜に再配達されて無事にダイオードを受け取る事が出来ました。

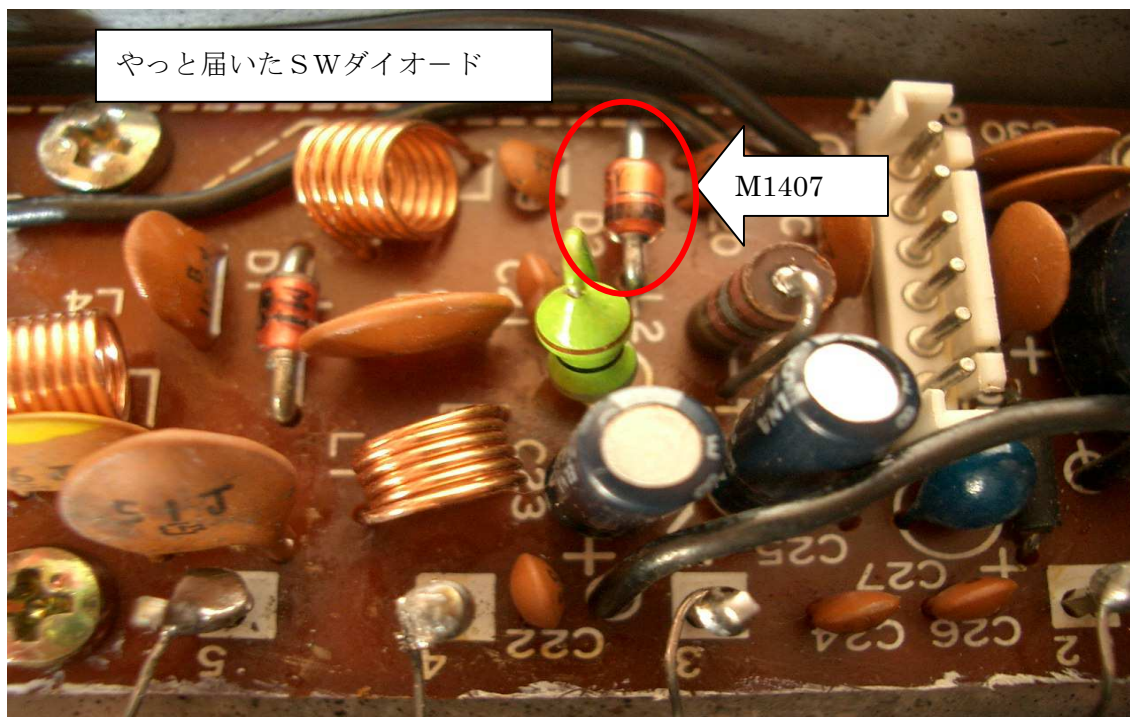
マンションの集合ポストには部屋番号と氏名「斎藤 章」と大きく書いてあるので部屋番号が無くても、分かると思うのですが、駄目なのでしょうかね～～

でも、立川郵便局で担当して頂いた方はとても親切で迅速でした、これも民営化の準備でしょうか？

皆さんも、不着郵便は諦めないで、郵便局に問い合わせをすると見つかります。

配達出来ない郵便は、1週間は未配達BOXに保管され、その後は別の場所に保管されるようで、郵便局はこちらの問い合わせを待っているのだそうです。

無事に受け取る事ができ、ダイオードをその日の内に交換して、送信すると15Wのパワー表示をしました、M1407の50Mhzでのパワーは100Wなので十分余裕です。



その後、固定からとモバイルから送信していますが、問題はありません。

TR-9300が送信不可になって5ヶ月してやっと復活しました。

TR-9300が復活するに当たり、多くの人の支援があった事を感謝し、今後も大切に使いしていきたいと思います。

おわり